

広報ひこね



彦根市街の向こうに見える荒神山・新海浜・びわ湖

2005

1/1・15

新春座談会

安心して子育てができる まちづくり 2

図書券をあてよう クロスワードクイズ 6

ときの玉手箱 第101回 8

ご見学ください 消防出初式 9

1月17日 防災とボランティアの日 16
1月15日～21日 防災とボランティアの週間

今回の「広報ひこね」は、1日号と15日号の合併号です。
1月15日号は発行しませんので、あらかじめご承知ください。

安心して子育てができるまちづくり

平成15年に次世代育成支援対策推進法が制定され、子育て支援を社会的な課題として取り組んでいく法的な整備が行われました。彦根市では、(仮称)彦根市次世代育成支援行動計画を3月に策定する予定です。

子育てに対して不安を抱く親が増え、子どもへの虐待が増加するなど、子育てを取り巻く問題は、今や大都会だけのものではありません。子育てをする親が、安心して、楽しく子育てをするために、今どんな支援が必要でしょうか。

さまざまな立場から子育て支援にかかわる人に、子育ての現状と、これからの子育てについて、話していただきました。

核家族世代の子育て

市長 新年あけましておめでとございませす。さて、わが国では、子どもの数が減り続け、社会保障制度の破綻や労働力不足など、これからの社会に深刻な影響を与える危険が懸念されています。彦根市では、平成16年度に次世代育成支援を重点施策として位置付け、次世

代育成支援体制の整備を始めています。

今回は、日ごろ子育て支援に取り組んでいる皆さんが集まっていただき、現在の子育てと、それを取り巻く環境について、現状や問題点などをお話しいただき、子育て中の親子に対してどういった支援が必要か、行政として、地域として、家庭としてできることは何かをお聞きしたいと思います。

渡辺 私が勤務する乳児保育所には0歳〜4歳のお子さんが毎日元気に通ってこられます。保護者の皆さんを見ていて感じることは、その多くが、仕事をもちながら子育てを本当に一生懸命にしておられるということです。「あんまり頑張りすぎないで、のんびりと・・・。」とアドバイスすることもありますが、非常にきちょうめんというか、神経質になっておられる人が多いように感じます。

覚とか、他の人と話したり出会ったりすることで生まれてくるゆとりもなくなっているように思います。

田島 「保育サービス」講習会受講者がNPO法人「保育サービスドリーム」を結成し、保育サービス事業を実施しています。初めて親になった人の中には、仕事の都合で転動してきた人も多いようです。こういった親にとっては、相談できる相手もいない環境にあるのではないのでしょうか。いわゆる核家族ですと家において、子どもだけと過ごし、良くも悪くも子育てだけに没頭している父親や母親は、自分も社会の一員であって地域の一人であるという感

中村 私たち「旭森子育て支援グループ」は、旭森地区公民館で、幼稚園や保育所に入る前の子どもさんとその保護者を対象に「のびのび教室」を開催しています。参加者は、初めて子育てをする「お母さん1年生」の人が多くです。ね、また、新興住宅地に引っ越して来られて、近所に友達が少ないことも最近の特徴です。ですから、同じ子育てをするお母さんや、先輩のお母さんたちと交流する子育て支援教室も必要なんです。子どもが1歳になったら母親だって1年生、2歳になったらやっとなんか2年生なんです。

紀伊 子どもの地域での活動と、家庭の子育てを支援することを目的に発行してきたことも情報誌「げんげんキッズ」も、2001年の発行から4年が経ちました。子どもにとって、父親に言われるのと、母親に言われるのとは何かが違うのです。でも仕事で忙しいなど、多くの家庭で、父親が子どもと接する時間が不足しています。このため、育児をする母親の負担やストレスを少しでも軽減できる、子育て支援教室や、スポーツ少年団などの役割が大きくなっているのだと感じます。



紀伊 規子さん

子どもが泣くと、親は保育所は嫌なのだろうと思ってしまうのですが、これはかならずしもそうではないと思います。親さんと離れるのが嫌で子どもが泣くのは当然なのです。それだけ親子関係がしっかりと出来て

なくなった親子の時間

市長 現在では、社会の仕組みも変わり、家庭と地域との関係が疎遠になっていくのようです。家庭における親と子どもの関係というのはどのようになっているのでしょうか。

杉原 子どもたちに剣道を教えるようになって20年になりますが、最近はずいぶん「早くしなさい。」と言う親が多いようです。父親は仕事で忙しく、母親も仕事を持っている人が多いので、子育てが少し落ち着くと仕事に戻らなければなりません。子育てに手を抜い

渡辺 昔と違って、今は保育所への送迎も大半が自動車です。あかちゃんの場合、クーハン(かこのような物)に入れて連れてこられる人がいます。せめて駐車場からお母さん、お父さんが抱っこしてきてくださいとお願いしています。おんぶやだっこで親さんにかみついて、子どもも親もお互いの温もりを感じる事が大切なのです。また、保育所や幼稚園へ送るときに

子育てが負担になったのは社会のせい? 市長 テレビやラジオ、新聞などで、児童虐待の話題を目にする機会が増えました。本当に痛ましく、そんなことはあってはならないことです。そこでこういった事件が起こる原因も含めて、現代の子育て世代を取り巻く社会状況の何が問題なのかについて皆さんの考えをお聞かせください。

中村 現在は、心と心を通わせて育てるといふ余裕が本当にないように思うのです。最近では、多くの家庭が両親とも働きに出ておられます。子どもが小さくて今は家におられるお母さんのなかにも、ゆくゆくは子どもを保育所に入れてお勤めに出る人がいます。子育て支援に携わる者としては、お父さん



田島 麻佐子さん



▶ポケット広場のようす(子育て支援センターふたば保育園内)

- 出席者(順不同)
紀伊規子さん(大藪町)
げんげんキッズ編集委員
杉原祥浩さん(高宮町)
彦根市剣道スポーツ少年団指導者
田島麻佐子さん(西沼波町)
NPO法人
保育サービスドリーム代表
中村信子さん(野田山町)
旭森子育て支援グループ代表
渡辺宏子さん(中藪二丁目)
彦根乳児保育所所長
中島
彦根市長

中村信子さん



やお母さんに、もっと子どもと過ごして欲しいと言いたいところ。しかし、社会全体がそういう状況にあるのでしょうか。結果として、乳幼児期に親とじゅうぶんな時間を過ごせていない子どもが少なくありません。

田島 よく、「社会が悪い」という言葉を耳にします。しかし、社会環境だけに問題があるとは言えないと思います。児童虐待の問題なども、テレビや新聞を見ている限りでは、親が地域とのかかわりをあまり持っていない家庭に多いように感じます。子育てや、仕事から来るストレスを、例えば友人のよつに、話せる人が身近にいれば癒されることもあると思います。もちろんそれは家族であることが一番ですが、それ以外にも、親がかかわりを持っている場所があることも大切なことだと思います。

紀伊 人の考え方も、昔とは変わり、地域のつながりが重視された生活から、

座談会会場の「市立ふたば保育園」は、市内で初めて高齢者福祉施設が併設された保育所として平成15年に完成しました。園内には、地域子育て支援室があり、乳幼児とその保護者を対象にボケット広場などの取り組みが行われています。



個人のプライバシーを重視する社会になりました。かつては少なくとも近所の子どもの顔は誰もが知っていたはずですが、現在はそうではなく、特にマンションやアパートなどでは、隣に住む人の顔も知らないことも珍しいことではありません。むしろ、プライバシーを気づかう余り、地域に出てこれない人に声をかけることもためらうくらいなのです。

杉原 私も含めて、最近では親になりきれないままで親になってしまった人も多いのではないのでしょうか。昔もそうだったのかも知れませんが、昔は同居している祖父母や、地域の力を借りて親自身も成長できたのです。ところが核家族が当たり前である現在は、おじいちゃんやおばあちゃんが同居していない家庭が多く、地域とのつながりも弱くなり、分からないことがあったり、間違った子育てをしていても、そのことを教えてくれたり、アドバイスしてくれる人がいないのです。

子育てを支援する喜び

市長 確かに、世の中が悪いという言葉だけで済ますことには非常に問題があると思います。家庭や地域の



中島一彦根市長

子育て力が低下した今こそ、家庭や地域社会の中で真剣に子育てを考えていかなければならないと思います。そこで皆さんが取り組んでおられる子育て支援などの活動のうち、成功したと思われる事例がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

渡辺 彦根乳児保育所では、地域の皆さんや、民生児童委員さんを入れて、子育てをテーマに出前講座をしています。参加された人が園に来てくださるのがうれしいですね。

中村 平成8年度に子育て支援教室を始めたときは、こちらがすべて準備して参加者はお客様でした。しかし、参加するみんなが楽しい教室をつくりましようと呼びかけたところ、お母さんたちはだんだんと自主的に活動されるようになって、私は裏方にまわることが多くなりました。そして今では、以前は利用者であったお母さんたちが、「のびのび教室」・「すくすく教室」のスタッフとして、お手伝いをしてもらえるようになりました。自分の子育ての経験を、地域で次に子育てをする人に伝えられるところが、私が目標にしていた新しい地域の子育てなんです。

21世紀、彦根の子育て支援

市長 ありがとうございます。それは、最後になりますが、子育て中の親子に対してどのような支援が必要でしょうか。またその支援は、行政・地域・家庭など、誰が提供すると効果よく効果が発揮できるとお考えでしょうか。

田島 子どもがいる家庭だけでなく、いない家庭も、地域、職場などでも、みんなが同じ情報を共有して、子育て支援ができるような社会になってほしいと思います。そのためには、「げんげんキッズ」や「広報ひこね」、ホームページ「フレンズ」などによる情報発信がとても大事だと思います。私たちのように、子育て支援に携わる者と行政とがいつしよになって、子育てに関する情報を積極的に発信していかなくてはなりません。

紀伊 「げんげんキッズ」を作るときも、情報の一方通行にならないように心がけています。子育てについてよりよい情報を伝えていくために、読まれた方の感想や意見をお聞きしたいし、作り手である私たちも情報の受け手の思いをしつかりと受け取ることが出来る仕組みを作ることが必要です。

渡辺 地域のつながりが希薄になるなど、子育てにおいて心配される要因は、

渡辺宏子さん



都会だけではなく、彦根市内でも見られると思います。そういった中で、これから子育てをする人に、親になることの大切さを伝えていきたいです。子育て支援には、乳幼児期、児童期、思春期など、各ステージに合わせた支援が必要なんです。

また、最近では、乳幼児期の子どもを持つ親への支援は、子育て教室など、さまざまな場所で始まっていますが、思春期の子どもを持つ親への支援はほとんどありません。こうした支援については、どのような支援が必要かといった検討も含めて今後の課題です。

杉原 海外には、親とお年寄りは大事にしましよつと教えている国もあるようです。一方、最近の日本では、勉強ができる子が一番という考え方になっていっているように感じます。道徳教育は、幼稚園や保育所から始める必要があるのではないのでしょうか。ぜひ彦根から何かを始めて欲しいですね。

杉原祥浩さん



杉原 私が剣道を教えた子どもたちが指導者として帰ってきてくれるようになりまして、それはもう感無量です。皆さんも同じだと思いますが、自分がやってきたことを誰かが受け継いでくれるということは、それに対する自分の思いも広がって行くことだと思います。ですから、教える子が指導者になってくれることは、最高の成功例ではないかと思うのです。子育ても、そうでありたいものです。

田島 託児サービスや、親子で活動する行事のほかに、託児を利用していただき、お母さんどうしが交流する場も作っています。子どもと少しの時間を離れることで、自分の子どもを改めて見ることができたと言つ人もおられます。子育て以外の所で母親や父親がゆとりを感じたり、自分自身を見つめ直し、新たな気持ちで子どもと向き合えるお手伝いが少しできたのではと思います。

中村 心と体が豊かに育つ第一の基盤は地域だと思えます。彦根市の子育て支援の根つこが、地域で手作りで行われているというところは重要です。今のお母さんたちは、育児書を始めとさまざまな情報に影響されがちです。一方で、両親や祖父母、地域の子育て経験者など、生きた教科書に習つことが少なくなってきました。私たちがそうであったように、現在の子育て世代にとつても、子育て経験者のアドバイスは役に立つと思えます。そして、このような活動の場として、自治会館や、地域の集会所がいつでも集えるような環境を整えられればと考えています。平成16年度から、8つの地区公民館で「のびのび教室」が開催されたのはよかったと思います。

市長 今のお話をまとめてみますと4つに分類できます。①家庭での育児力と教育力の強化。②子育てと仕事を両立するための支援。③安全で健全な社会環境をつくる。④子育てを支える人の広がりや関係者が連携する。このようないふこになると思います。彦根市民の皆さん、この21世紀に、次の世代を受け継いでくれる健全な子どもたちの育成と、彼らが暮らすこの彦根市が明るく楽しいまちとなるよう共に頑張っていきたいと思います。貴重なご意見を本当に長時間ありがとうございました。



ひこね市文化プラザ ☎26-8601
FAX 26-8602
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/plaza/
1月の休館日:1(土祝)~3月・11(火)・17(月)・24(月)・31(日)

マーク:託児サービスがあります。(要予約)
※公演日の1週間前までにご予約ください。

マーク:公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200

29日出 15:00~
ニューイヤーコンサート
東京フィルハーモニー交響楽団演奏会
☆指揮:船橋洋介 ピアノ:菊池洋子
☆曲目:シュトラウス/美しく青きドナウ
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番
ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界」より
指定 S席4,000円 A席3,000円 B席1,500円
※S席・A席は500円の学生割引あり
【好評発売中】

みずほ文化センターの催し

12日出 14:00~
マイムと人形たちのメルヘン劇場
ピノキオ
シングル1,200円(当日1,500円)
ペア2,000円(当日2,500円)【好評発売中】

PLAZA FESTIVAL プラザ・フェスティバル
1月30日(日) 13:30~ チャレンジ部門 エコーホール
2月6日(日) 13:30~ 邦楽部門 エコーホール
【入場無料】

ひこね市文化プラザ友の会

平成17年度 会員を募集しています!!

会費:3,000円(=入会金:1,000円 年会費:2,000円)
特典:①催し物案内や情報誌を毎月お届け
②主催公演チケットの先行予約(1公演4枚まで)
③主催公演のチケットが1割引(1公演2枚まで)

問い合わせ先:ひこね市文化プラザ・チケットセンター
※入会申込書は、市役所、支所・各出張所、各地区公民館、市内の滋賀銀行・滋賀中央信用金庫・郵便局などにあります。

受講者募集

子どもの本 入門講座 基礎コース

日程 1月13日(木) 子どもの年齢に応じた本の楽しみ方
1月20日(木) わらべうたで遊ぼう
時間 9:30~11:00 場所 市立図書館
参加費 無料 定員 50人
託児 15人まで(2歳以上で託児経験があること)
申込期限 1月9日(日)
申込・問い合わせ先 市立図書館 ☎22-0649

子どもセンター ☎28-3645
FAX 28-3645
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/children/
1月の休館日:1(土祝)~3月・11(火)・12(水)・17(月)・24(月)・31(日)

8日出 13:30~14:30 (受付は13:00開始)
子どもわいわい広場
「合体ごまをつくってあそぼう」
☆ごまに色を塗ったり絵を描いて仕上げ、そのまま回して遊んだり、ボディに取り付けて車のおもちゃにして遊びます。【参加無料】
☆対象・定員:幼児~小学生 先着20人
※小学3年生以下は保護者同伴

18日出 14:00~14:30 【参加無料】
子どもわいわい広場「おはなし図書室」
☆絵本の開き読みをします。

22日出 13:30~15:30 (受付は13:00開始)
子どもわいわい広場
「しかけえほんにチャレンジ」
☆自分だけの仕掛け絵本を作ります。【参加無料】
☆対象・定員:幼児~小学生 先着20人
※小学3年生以下は保護者同伴

5日出9:30~12:30
子ども工作道場 フチツと工作
「名犬ロボットを作ろう」
☆工夫をしながら工作の楽しさ・喜びを味わい、名犬ロボットを作ります。
☆対象:小学1~6年生(1~3年生は保護者同伴)
☆定員:18人(先着順)
☆受講料:1人500円

11日出9:30~15:00
親子de工作道場2
「七宝焼きでオリジナル小物作り」
☆親子で協力しながら工夫をしながら、工作の楽しさ・喜びを味わい、七宝焼きでオリジナル小物を作ります。
☆対象:小学1~6年生と保護者
☆定員:18組(先着順)
☆参加費:1組2,000円

センター窓口にある申込用紙に必要事項を書いて受講料を添えてお申し込みください。
※電話による申し込みはできません。
☆期間:1月8日(出)~同23日(日)の8:30~17:00(11日(火)、12日(水)、17日(月)を除く)

市民体育センター ☎23-2293
FAX 23-2294
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/sports/
1月の休館日:1(土祝)~3月・7(金)・11(火)・18(火)・25(火)

16日出 13:30~16:00
フレッシュスポーツデー
☆ニューススポーツを楽しみながら、いい汗流してみませんか?だれでもできるニューススポーツを紹介します。
予定種目:インディアカ(写真)、ダブルダッチ、カローリングほか
参加費:小学生以上1人200円(当日、受付でお支払いください)
※運動のできる服装で、体育館シューズを持ってご参加ください。



クロスワードクイズ

問題 下の「かぎ」を参考に右のマス目を埋めてください。
の5文字を並べ替えてできる言葉は何でしょう。

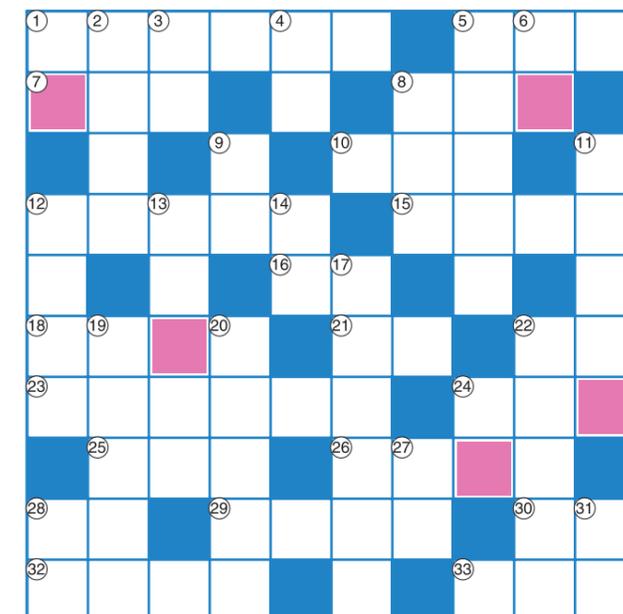
ヒント:新年にあたり、消防にかかわる人たちが決意を新たにします

応募のきまり はがきに クイズの答え【 】住所、氏名、電話番号、「広報ひこね」の表紙に取り上げてほしい場所、「広報ひこね」の記事でよく読むもの、その他「広報ひこね」に対するご意見・ご感想などを書いて、困情政策課広報係(〒522-8501)へ送ってください。E-mail: koho@ma.city.hikone.shiga.jpでも受け付けます。

応募期限 1月31日(月)(当日の消印有効)
正解者の中から、抽選で30人に図書券を差し上げます。
当選者の発表は、賞品の発送をもってかえます。

ヨコのかぎ

- ①彦根市のほぼ中央に位置し、へびにそっくりな「へび岩」のある山
⑤ 芹川の散歩コース「 並木」
⑦ 甘くて丸い瓜。プリンス 、マスク など
⑧ みんなを健康にする「ひこね 計画21」
⑩ 傷がない様子
⑫ 彦根城の松並木。昔は47本あったそうです。
⑮ 研究などを進めて実用化すること
⑯ 地球の衛星。かぐや姫のふるさと
⑰ 千島列島から本州の東岸を南に流れる寒流
⑳ まくと芽が出てきます
㉑ 足を踏む=とまどうこと
㉒ 天気を調査したり、予報を出したりします。彦根では、城町二丁目にあります
㉔ でしゃばること。 がましい
㉕ よく似ている、数字が近い
㉖ 花の咲き乱れる園
㉘ 父さん さん
㉙ しめさばをすし飯にのせた押し寿司。パッテラ
㉚ 燃料にする乾燥させた木
㉛ 古代から信じられた言葉の不思議な力
㉜ 彦根の歴史を遊びながら学ぶ彦根



- ① 日本人の主食
② あつちこつちと まわる
③ 一網打
④ 草や竹が生い茂っているところ
⑤ 607年、大和朝廷が中国の随に派遣した使節
⑥ いも、肉 そば
⑦ 雑食性の動物、人の住むところの近くにも、去年はたくさん現れました
⑧ 元日の日の出
⑨ 言葉を残すこと
⑩ 日本のお餅
⑪ 餅
⑫ 餅
⑬ 餅
⑭ 餅
⑮ 餅
⑯ 餅
⑰ 餅
⑱ 餅
⑲ 餅
⑳ 餅
㉑ 餅
㉒ 餅
㉓ 餅
㉔ 餅
㉕ 餅
㉖ 餅
㉗ 餅
㉘ 餅
㉙ 餅
㉚ 餅
㉛ 餅
㉜ 餅
㉝ 餅
㉞ 餅
㉟ 餅
㊱ 餅
㊲ 餅
㊳ 餅
㊴ 餅
㊵ 餅
㊶ 餅
㊷ 餅
㊸ 餅
㊹ 餅
㊺ 餅

タテのかぎ

子育てシンポジウム
「完璧な親なんていない」
基調講演
「子育ての悩みをイライラしていませんか?子どもに笑顔で向き合っていますか?」
日時 1月29日(土)午後1時30分~午後4時30分(受付は午後1時~)
場所 ひこね市文化プラザ メッセホール



開館時間 8:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 1月の休館日はありません。
なお、1月25日(火)~27日(木)は展示替のため、展示室を一部閉室しています。

観覧料 ()内は30人以上の団体料金 市内在住の小・中学生と
一般 ... 500円(450円) 65歳以上の人、障害者の
料 小・中学生 ... 250円(170円) 人は無料です

1月1日(祝・土)~25日(火)

吉祥のデザイン —金のきらめき—

能装束や、漆工品などを彩る豪華な金色が、
新春をことほぎます。

観覧料が必要です



▲能装束 唐織

ギャラリートーク 吉祥のデザイン

—金のきらめき—

1月8日(土) 14:00~

博物館講堂に集合

本館学芸員 齋藤 望

(さいとう のぞむ)

1月28日(金)~2月22日(火)

硯と煙草盆 —井伊家伝来の調度から—

井伊家伝来の調度品の中から、硯と煙草盆を取り上げます。

観覧料が必要ですよ



▲我宿時絵 硯箱

ギャラリートーク 硯と煙草盆

—井伊家伝来の調度から—

1月29日(土) 14:00~

博物館講堂に集合

本館学芸員 小井川 理

(こいかわ あや)

開館記念講演会 聴講無料

「武将とまじない」

静岡大学教授 小和田哲男さん
戦国時代史研究の第一人者

日時 2月12日(土) 14:00~

場所 彦根城博物館 能舞台見所

定員 150人(申込多数のときは抽選)

申込期限 1月14日(金)必着

申込方法 往復はがき(1人1枚) 往信の裏に住所、名前、電話番号を、返信の表にも郵便番号、住所、名前をそれぞれ書いて、彦根城博物館学芸課開館記念講演会係(〒522-0061金亀町1-1)へ

文化財を火災から守ろう

1月26日は文化財防火デー



文化財の多くは木や紙など燃えやすいものでできていて、いったん火が出ると簡単に消失してしまいます。先人が守ってきた貴重な財産を火災から守り、後世に引き継ぐために、みんなで協力しましょう。

《文化財を守る2つの約束》

①喫煙マナーを守り、近くで火遊びなどの火災の原因となることはやめましょう。

②文化財の周りに燃えやすい物を捨てたり、置いたままにしないようにしましょう。

問い合わせ先 消防本部予防課 ☎22-0332、同警防課 ☎22-0337

消防出初式



恒例の彦根市消防出初式が行われます。出初式は、消防にかかわる人たちの、年頭にあたっての決意表明の催しです。どうぞ見学ください。

日時 1月8日(土)午前10時30分~午後0時15分

場所 彦根城大手前公園(金亀町)

内容 分列行進、車両行進、彦根鷹保存会によるはしご登り演技、幼年消防クラブ員の防火演技、一斉放水など

問い合わせ先 消防本部消防総務課 ☎22-0314番

甲種防火管理者 資格取得講習会

日時 2月9日(火)、同10日(木)の午前9時~午後4時

場所 消防本部(西今町)

定員 72人(先着順・管内者を優先)

受講料 5,000円

申込期間 1月17日(月)~同21日(金)の午前8時30分~午後5時15分(定員になりしだい締め切り)

申込・問い合わせ先 消防本部予防課 ☎22-0332

2番 消防署南分署 ☎43-5670番

3番 消防署北分署 ☎43-0119番

4番 消防署犬上分署 ☎33-3130番

金色の効用

1能装束・狩衣

昨年のオリンピック・アテネ大会では、日本人選手が金メダル16個を獲得する大活躍をしました。

1位、2位と数字がついているわけでもないのに、メダルと言えは上位から金・銀・銅という順になっていることをだれも疑いません。洋の東西を問わず、貴金属の筆頭にくるのが金でした。金のきらめきは人々を魅了し続けてきた、と言えるでしょう。

能の装束では、金色がきわめて効果的に用いられます。例えば華やかな金襴の狩衣(図1)。装束を納める畳紙に墨書で、神舞物、御地花色、金にて鶴、亀甲の内花菱と簡略にして要を得た説明があり、さらに、天保11年(1840)に作られたことが記されています。

まず、この狩衣は、若い男神が天下祝福の心で舞う神舞物に使うとします。地の色は、花色。淡い藍色の縹色をいう場合で、明るい紺色の露草色をさす場合がありますが、ここでは後者の意味で使っています。



図1 能装束(狩衣)



図2 能装束(単狩衣)

文様は金色で、鶴と亀甲と花菱。六角形の幾何学文様のことを、亀の甲羅の模様を思わせるところから亀甲文と呼びます。その中に、4つの花弁で菱形を構成する花菱文が納められています。

るといっわけです。

亀甲文は文様としてはポピュラーで、美術工芸品に広く用いられます。彦根市の市章が、彦根城天守の建つ金亀山(城山)にちなんで、「ヒコネ」の3文字を、亀甲の形に組み合わせたデザインであることは、皆さんご存じでしょう。

この狩衣では、亀甲繫ぎと鶴とを組み合わせた2種類の文様を打ち返します。具象的な亀をデザインして

いるわけではありませんが、亀甲文はいうまでもなく亀を意味しているのです。ここには、鶴の吉祥の意味が込められていることになりま

す。紺色の地に金が映えて、コントラストが強

く、鮮やかな印象があります。

同じように金を使っても、地色が異なること、印象はがらりと変わります。

単狩衣(図2)は、白地に金糸を織り込んだ絹織物で、文様は松皮菱(大小3つの菱形を繋いだ形)とします。江戸時代後期、19世紀の制作です。こちらはいかにも清々しく、清楚な感じに仕上がっています。色彩のマジックとでもいえますよ。

能装束には、日本人が培ってきた伝統的なカラーコーディネート感性が生かされています。

ところで、能の「鶴亀」は、唐土の玄宗皇帝が、春の節会の毎年の行事として、鶴亀の舞を催し、また自らも舞つめた曲です。

亀は万歳の象徴、鶴も千代を意味し、鶴亀にあやかり、今年も一年が良一年でありますように。

(彦根城博物館学芸員 齋藤 望)

彦根城博物館のテーマ展示「吉祥のデザイン 金のきらめき」(1月1日~1月25日)に展示します。



はたちの皆さん
国民年金をお忘れなく

滋賀社会保険事務局

今年成人式を迎える皆さん、ご成人おめでとございます。20歳になると、選挙権などの権利とともに、いくつかの義務が課せられますが、「国民年金への加入と保険料の納付」もその一つです。国民年金は、老後になってからのものだけではありませぬ。不慮の事故や病気など万のときに、障害年金や遺族年金が皆さんを守ってくれます。

国民年金は、皆さんが加入し保険料を納めることで、現在年金を受けている人たちを支え、皆さんが高齢者になったときは次の世代を支えるという、世代

と世代が支え合う仕組みになっています。自分自身の将来のためにも、大人としての責任を果たすためにも、国民年金に加入し、保険料を納めましょう。

保険料の納付が困難な人には、保険料の免除制度があります。また、学生の人なら、納付が猶予される学生納付特例制度もあります。さらに、4月からは、若年者納付猶予制度も創設されることになっています。払えないときにもあきらめず、ご相談ください。

相談・問い合わせ先 滋賀社会保険事務局彦根事務所 ②111番、FAX ②39038番、①保険年金課 ②141番内線138番、FAX ②1398番

市立病院 助産師・看護師を募集

募集人数 10人程度
受験資格 昭和40年4月2日以降に生まれた人で、助産師または看護師の免許を有する人(平成17年3月31日までに取得見込みの人を含む)
受付期間 1月6日(休)~同20日(休)(土・日曜日、祝日を除く)の8:30~17:15
試験日 1月30日(日)8:30~
問い合わせ先 市立病院総務課 ②22-6050(内線3516) FAX26-0754

彦根市日中友好協会 春節交流会

日時 1月15日(土)午前9時30分~午後2時30分 場所 市民会館2階 内容 中国人留学生などの指導による餃子をはじめとする中国の家庭料理づくりと、その料理を囲んでの交流会
参加費 大人2,000円・学生1,000円 申込期限 1月13日(休) 申込・問い合わせ先 彦根市日中友好協会事務局(宮下方) ②3737番(FAX共用)、または市民・国際交流サロン ②1411番内線590番(火曜日は除く)

募集

市立病院で学ぶ がんの患者さんとかかり方

その家族のための連続講座 がんの患者さんやその家族が抱える問題をどのように解決すればいいか、ミニレクチャー、実習、参加者同士の話し合いを通してサポートします。
日程 1月25日(火)、2月8日(火)、同22日(火)、3月8日(火)、同22日(火) 時間 いずれも午後2時~同4時 場所 市立病院3階 講堂 講師 市立病院医師など
参加費 無料 申込方法・問い合わせ先 ファクス、電子メールで、住所・名前・電話番号

2005年農林業センサスにご協力ください

市 企画課

農林水産省は、2月1日現在で、2005年農林業センサスを実施します。これは、農林業の実態を明らかにするため5年ごとに実施されるもので、今後の政策立案に役立てられます。1月中旬以降、農林業を営む人のところに調査員が伺いますのでご協力をお願いします。

問い合わせ先 市企画課 ②1411番内線417番、FAX ②1398番

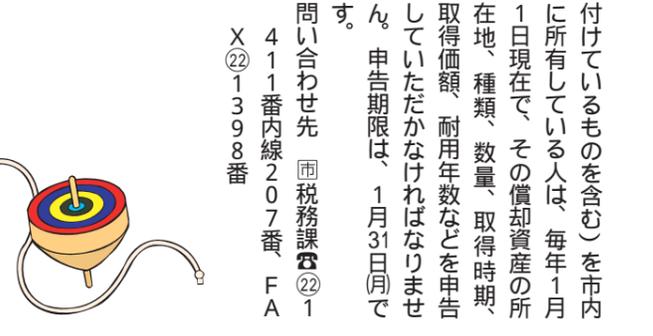
市 課税課 償却資産の申告

期限は1月31日(月)です
償却資産とは、事業のために使うことのできる、土地・家屋以外の資産で、その減価償却費が、法人税法または所得税法で定める所得の計算上、損金または必要経費に算入される資産(これに類する資産で、法人税または所得税を課税されていない人が有する資産を含む)のことです(下の表参照)。償却資産は、土地や家屋と同じように固定資産税の課税対象となります。

このような事業用資産(貸し

市営住宅 入居者募集

募集住宅 正法寺団地(正法寺町) 1戸
岡町団地(岡町) 1戸
正法寺団地は単身入居できます。
受付期間 2月1日(火)~同9日(水)(土・日曜日は除く)の午前8時30分~午後5時15分
入居時期の決定 3月中旬ごろ
入居できる時期 3月下旬以降
申込方法 本人または同居(同居予定を含む)の家族の人が、市役所1階へ申込書を提出してください。なお、申込の条件がありますので、詳しいことはお問い合わせください。(申込書などの書類の交付は、1月17日(月)から同課で行います。)
問い合わせ先 同課 ②1411番内線109番



償却資産の例

構築物	門、塀、庭園、広告塔、舗装路面、仮設の建物、電気設備、空調設備、サービス設備、テナント負担分の内装、建築設備
機械および装置	旋盤、ボール盤、ミシン、ウインチ、ホイスト、クレーン、自走式作業用機械
船	ボート、漁船、汽船
車両および運搬具	動力運搬車、手押し車、大型特殊自動車(ただし、自動車税が課税されているものは除く)
工具・器具および備品	切削(せつさく)道具、測定工具、陳列ケース、複写機、パソコン、ワープロ、医療機器、ネオンサイン、看板、その他営業用の器具

女性の身近な法律講座

日時 1月29日(土)、2月19日(土)、3月12日(土)の午前10時~正午(連続講座) 場所 男女共同参画センターウィズ 対象 市内に在住・在勤の人 受講料 各回200円 申込期間 1月5日(水)~同28日(金) 申込方法・問い合わせ先 電話かファクスで同センターウィズ ②3529番(FAX共)へ 託児あり(0歳~就学前、要予約)

水鳥の観察会

日時 2月6日(日)午前9時~正午※荒天中止 場所 犬上川河口※午前8時50分までに県立大北駐車場に集合 内容 冬に

彦根市男女共同参画地域推進員

地域推進員は、男女共同参画に関する地域での普及啓発や活動を支援していただくため、彦

飛来する水鳥の観察 参加費 無料 持ち物 筆記用具(あれば)双眼鏡、図鑑、長靴など ※暖かく、動きやすい服装で 申込受付 1月5日(水) 申込・問い合わせ先 快適環境づくりをすすめる会事務局(囲生活環境課内) ②1411番内線172番、FAX ②70395番

根市が委嘱するものです。この地域推進員に欠員が生じたため、1人を追加募集します。応募資格 市内在住の20歳以上70歳未満で男女共同参画の推進活動に意欲のある人。ただし公務員は除きます 任期 平成18年3月31日まで 募集期間 1月4日(火)~同31日(月) 申込方法・問い合わせ先 応募用紙(男女共同参画課 男女共同参画センターウィズ、支所・各出張所 各地区公民館にあります)に必要事項を記入し、同課(〒5228501 市役所3階) ②1411番内線361番 FAX ②1398番へ

インフルエンザを予防しましょう

- ・人ごみを避け、マスクを着用しましょう。
- ・栄養と休養をじゅうぶんにとりましょう。
- ・室内では、換気に気をつけ適度な湿度を保ちましょう。
- ・手洗いやうがいをし、清潔に気をつけましょう。

風しんの予防接種を受けましょう

風しんは、「三日ばしか」とも言われ、小さな子どもを中心にかかりますが、ふつうは軽症で終わります。けれども、妊娠早期に感染すると、胎児に感染して「先天性風しん症候群(CRS)」と言われる心臓病、白内障、難聴などの病気になる可能性が高くなります。最近では、20歳以上に風しんにかかる人が多い傾向にあります。風しんは予防接種を受けることで防げる病気です。明らかに風しんにかかったことがある人や、予防接種を受けたことがある人、風しんの抗体がある人を除いて、次の人は予防接種を受けましょう。

- ▶ 妊娠する可能性のある人
- ▶ 妊婦の夫や子どもなど同居の家族
- ▶ 出産後1か月以内の女性

※念のため、接種後2か月間は避妊が必要です。 ※妊娠中は予防接種を受けることができません。人ごみを避けるなど、かからないよう注意しましょう。

問い合わせ先 健康管理課 ②24-0816、FAX24-5870

※特に記載のないとき、相談料は無料です。

相談名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
行政相談	1月11日(火) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
スポーツ相談	1月12日(水) 13:30~15:00	市民体育センター	体力測定とコンピュータによる総合評価(体育館シューズを持参し、運動のできる服装でお越しください) 電話かファクスによる予約制(住所、氏名、電話番号を前日の15:00までに下記へ) ☎教育委員会保健体育課☎22-8871、FAX23-9190
こころの健康相談 一般相談	1月14日(金) 1月25日(火) 13:30~16:30	彦根保健所 ☎22-1770	こころの健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします(予約制)
アルコール相談	1月27日(木) 14:00~16:00		アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます(予約制)
こころの健康相談 老人性痴呆相談	2月4日(金) 13:30~16:30	グリーンピアひこね ☎25-3909	痴呆の有無や程度、医療の必要性や、老人性痴呆への対応方法の指導などをします(予約制)
園芸相談	1月17日(月) 13:00~16:00		花(草花・球根・宿根草など)の育て方や管理(予約制)
結婚相談	1月19日(水) 13:00~16:00	グリーンピアひこね ☎25-3909	農家対象(予約制)
アグリ相談	1月20日(木) 18:00~20:00		農業技術(水稲・野菜・果樹等)・農業経営・営農企画・農地に関すること(予約制)
法律相談	1月18日(火) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、1月11日(火)午前8:30から先着6人) 8:30~9:30 受付専用ダイヤル☎27-0395 9:30以降 ☎市民広聴室 ☎22-1411(内線101)
	2月1日(火) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、1月25日(火)午前8:30から先着6人) 8:30~9:30 受付専用ダイヤル☎27-0395 9:30以降 ☎市民広聴室 ☎22-1411(内線101)
	2月4日(金) 18:30~20:30	ひこね 燦ばれず	電話による予約制(受付は、1月25日(火)午前8:30から先着3人) 相談料:1回1,000円(相談日当日にお支払いください) ひこね燦ばれず☎26-7272
	2月7日(月) 13:00~15:00	福祉保健センター別館音楽室 (旧・勤労青少年ホーム)	予約制(受付は、1月24日(月)午前8:30から先着4人) 相談料:1回500円(相談日当日にお支払いください) 彦根市社会福祉協議会☎22-2821(市内在住者に限り)
人権相談	1月19日(水) 2月2日(水) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課☎22-1411(内線373)
障害者相談	1月19日(水) 13:30~15:30	障害者福祉センター	県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加などさまざまな相談 ☎障害福祉課☎27-9981 FAX26-1767
暴力相談	1月20日(木) 13:00~16:00	市民会館第2会議室	暴力団から脅かされたり、たかられたり、無理難題を言われたりしていませんか(秘密厳守) ☎住民自治課☎22-1411(内線102)
登記表示登記相談	1月21日(金) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談 ☎市民広聴室☎22-1411(内線101)
巡回家庭児童相談	1月21日(金) 13:30~16:00	稲枝地区公民館	精神神経科医師が、家庭における子育て相談に応じます ☎児童家庭課☎23-9590
男女共同参画ウィズ相談室 こころの悩み相談	1月24日(月) 13:00~16:00	男女共同参画センターウィズ (福祉保健センター前)	臨床心理士が、こころのさまざまな相談に応じます 予約制(申込は水・木・金曜日13:00~16:00に、ウィズ相談専用ダイヤル☎21-5757へ)
仕事、家庭、人間関係… 男女共同参画ウィズ相談室 (総合相談)	毎週水・木・金曜日 (年末は除く) 13:00~16:00		女性、男性を問わず、仕事や家庭、人間関係などに関するさまざまな悩みの相談に応じます。総合相談での相談内容によっては、専門相談(弁護士による法律相談)であらためてご相談いただけます 相談専用ダイヤル☎21-5757
中小企業労働相談	毎週月~金曜日 (祝日、年末年始は除く) 9:00~15:45	湖東合同庁舎	労働に関するあらゆる相談や質問に、専門の相談員が応じます 彦根中小企業労働相談所(湖東地域振興局内)☎23-2064 土・日曜日、夕方は圏休日労働相談所☎077-564-2030
のぞみ相談室	毎日 10:00~22:00	(電話による相談)	ひとり親家庭等の相談、DV(夫または親密な関係の異性からの暴力)相談 のぞみ相談室☎21-1080
交通事故相談	毎週月~金曜日 (祝日、年末年始は除く) 9:00~16:00	湖東合同庁舎	被害者、加害者を問わず、専門の相談員が相談に応じます 県立交通事故相談所彦根支所☎27-2230
消費生活相談	毎週月~金曜日 (祝日、年末年始は除く) 9:00~16:00	☎生活環境課(市役所1階)	架空請求への対処、悪質商法の被害、クーリング・オフの方法など、身近な消費生活や契約にかかわるトラブルに関する相談 ☎生活環境課☎22-1411(内線173)

日曜納税相談

☎納税推進室は、仕事などで平日お忙しい皆さんのために、毎月1回、日曜日に納付や納税についての相談を受け付けています。

日時 1月30日(日)10:00~16:00
場所 ☎納税推進室(市役所2階)
問い合わせ先 同室☎22-1411(内線210)

農村女性研修会

日時	テーマ	内容
2月3日(木) 14:00~15:30	社会参画と起業活動 ……農……	農村女性の社会参画と起業活動について、県内の事例を紹介。
2月10日(木) 10:00~13:00	エコ・クッキング ……食……	日常の食生活の中で実践できるアイデアや工夫を取り入れた、地域環境にやさしいクッキング。
2月17日(木) 14:00~15:30	血液さらさらの秘訣 …健康…	コレステロール値を下げたり、いつまでも血液をさらさらに保つための食事や運動の方法。

日時と内容 左の表のとおり
場所 グリーンピアひこね(清崎町) 対象 市内に在住の女性
定員 30人(先着順) 料理材料費 500円 申込期間 1月7日(金)~同21日(金)の午前8時30分~午後5時(土・日曜日祝日は除く) 申込・問い合わせ先 グリーンピアひこね ☎25-3909番

農村女性研修会

平成17年度 彦根市秋の文化祭協賛事業

対象事業 9月~11月に開催される展示、発表など 対象団体 文化芸術関係団体、社会教育関係団体またはこれらに準ずる団体で、過去に市内外で展示発表などの活動実績がある団体 協賛事業になると 彦根市・彦根市教育委員会・財彦根市文化体育振興事業団の後援名義が使用できます 広報ひこね 文化祭ポスターなどによるPRができます 応募上はの注意 応募には、使用する施設の使用許可書または使用申込書の写しが必要(詳細については募集要項で必ず確認してください) 募集要項・申込書の配布場所 ☎教育委員会事務局(市民会館2階)、市役所1階受付、支所・各出張所、各地区公民館、高宮地域文化センター、みすほ文化センター、ひこね市文化プラザ、同学習情報コーナー 応募期間 1月17日(月)~2月18日(金) 応募・問い合わせ先 ☎教育委員会生涯学習課☎24-7971番、FAX☎23-9190番

催し物

※特に記載のないとき、参加費は無料です。

行事名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
なごみ押し花アート展	12月31日(金)~2月28日(月) 8:30~17:00(最終日は正午まで)	高宮駅コミュニティセンター(ギャラリー)	高宮駅コミュニティセンター運営委員会☎22-1963(馬場方)
手まり&ロープ人形展	~2月27日(日) 8:30~17:00	高宮駅コミュニティセンター(ホール)	
絵本をたのしむつどい	1月8日(出) 14:00~	市立図書館 ☎22-0649 FAX26-0300 (出演 ひこね児童図書研究グループ)	内容:ブックトーク…テーマにそって本の紹介をしながら絵本を読みます
せつぶんのつどい	1月29日(出) 14:00~		内容:人形劇…「カバのムーちゃんのひとりたび」その他 ※出演…人形劇サークル「我楽多」(がらくた)
NewAceCrew101第12回公演 漁る朝日と踊る湖国	1月14日(金)18:30~ 15日(土)14:00~ 18:00~ 16日(日)14:00~	Q(キュー)座square(スクエア) (銀座町)	内容:滋賀大学、県立大学の劇団が合同で公演する12回目。初めての学生自身による脚本、演出で、びわ湖が抱える問題と、それをとりまく人々を描く。魚が捕れなくなり、寂れゆく湖畔の漁村に、突然サカナが空から降ってきた。恵み?のサカナに、漁師、政治家、学者たちは… NewAceCrew101(木村方)☎090-9988-2649
彦根朝市	1月16日(日) 7:00~	いろは松駐車場	販売品:新鮮な季節の野菜、しじみ、卵、漬物など 販売者:彦根朝市組合 ☎農政課☎22-1411(内線318)、FAX24-9676
彦愛犬自然観察会	1月16日(日) 9:00~12:00	曾根沼(三津屋町) (南地区公民館に 8:50までに集合)	内容:バードウォッチング 対象:子どもから大人まで 持ち物:筆記用具、ハイキングのできる服装 参加費:100円(傷害保険料) 野鳥の森ビジターセンター☎48-0121
和紙折り紙教室	1月16日(日) 13:00~	自然の布館より一な (河原一丁目)	テーマ:花 講師:野村和子さん 材料費:1,500円 持ち物:はさみ、定規、ポンド、竹べら 定員:30人(先着順、あらかじめ電話でお申し込みください) 自然の布館より一な☎23-2035
森内王将杯将棋大会	1月19日(水) 10:00~ (受付9:30~)	彦根プリンスホテル (松原町)	競技方法:予選(3局指し、2敗失格)の後、決勝トーナメント戦 持ち時間20分切れ負け 定員:A(2段以上)・B(初段~1級)各30人、C(2級~初心者)40人 参加費:3,500円(昼食代、大盤解説会・公開対局入場料を含む) 森内王将杯将棋大会事務局(彦根プリンスホテル内)☎26-1111
彦根市ファミリー・サポート・センター 入会説明会	1月21日(金) 10:00~11:00 14:00~15:00	彦根市男女共同参画センター ウィズ (福祉保健センター前)	※彦根市ファミリー・サポート・センターは、育児・介護の援助をしたい人と受けたい人が有料で助け合う会員組織です 託児:あり(当日までに予約してください) ☎ファミリー・サポート・センター☎24-3920(FAX共用)



健康管理だより

☎健康管理課
(平田町・福祉保健センター1階)
☎24-0816
FAX24-5870



予防接種

ーツベルクリン反応検査・BCG接種ー

対象

- 平成16年10月出生児(対象児には、「説明書・予診票つづり」を郵送します。)
- 判定日に4歳未満児で、生後1度もBCG接種を受けていない児

日程

ツベルクリン 反応検査	48時間後	判定・ BCG接種
2月1日(火)	→	2月3日(木)
2月22日(火)	→	2月24日(木)

受付時間 13:10~14:10

場所 福祉保健センター

(判定の結果、陰性の児には医師の診察後、BCG接種があります。)

※ツベルクリン反応検査・BCG接種の対象年齢は4歳未満となっていますが、できるだけ1歳までに受けるようにしてください。

〈ご注意ください〉

結核予防法の改正により、4月からは満6か月以上の児は定期BCG予防接種が受けられません。(ツベルクリン反応検査陽性者は除く。)3月までに満6か月以上になるときは、早めに受けさせていただきます。

すくすく相談

☆母子健康手帳をお持ちください。

- 身体計測(9:30~11:00)
 - 2月3日(木) 福祉保健センター別館2階
対象:4か月~1歳未満児
 - 2月10日(木) 福祉保健センター別館2階
対象:1歳以上の児
 - ※絵本の開き読みなどもあります
 - 2月24日(木) 福祉保健センター
対象:4か月未満児
 - ※全乳幼児対象の個別相談も行います。
- 身体計測・個別相談(9:30~11:00)
 - 2月22日(火) 広野会館
 - 2月23日(水) 稲枝地区公民館



10か月に になりました

野原 一真ちゃん (東沼波町)
小嶋 真乃介ちゃん (東沼波町)
本田 実衣麻ちゃん (高宮町)

2月の乳幼児健康診査

場所 福祉保健センター別館(旧勤労青少年ホーム)2階

健診名	実施日	対象	受付時間
4か月児	8日(火)	平成16年10月生	13:00~
	15日(火)		
10か月児	9日(水)	平成16年4月1日~16日生	14:00
	16日(水)		

場所 福祉保健センター

1歳6か月児	4日(金)	平成15年8月1日~17日生	13:00~
	18日(金)	8月18日~31日生	
2歳6か月児	10日(木)	平成14年8月1日~14日生	14:00
	17日(木)	8月15日~31日生	
3歳6か月児	14日(月)	平成13年8月1日~14日生	
	21日(月)	8月15日~31日生	

場所 南老人福祉センター(稲枝支所の北隣・田原町)

4か月児	23日(水)	平成16年10月生 (主に亀山・稲枝地区の児)	13:30~
10か月児	23日(水)	平成16年4月生 (主に亀山・稲枝地区の児)	14:00

※4か月児健診以外、個人通知はありません。
※10か月児以上の健診は、「すくすく手帳」で健診内容・持ち物をご確認ください。

※2歳6か月児健診には、**歯ブラシとコップ**が必要です。



※3歳6か月児健診では、視力検査、検尿があります。朝一番の尿をきれいに洗ったビンなどに入れてお持ちください。

赤ちゃんサロン

☆母子健康手帳をお持ちください。

日時 2月1日(火) 9:45~11:30
(受付は9:30~9:45)

場所 福祉保健センター

対象 2~3か月児とその保護者

内容 子育てに関する情報交換や、友達づくり

ハローベビー教室

●第1コース(助産師を囲んで)

日時 2月3日(木)13:30~15:30
(受付は13:15~13:30)

場所 福祉保健センター別館2階
集団検診室

対象 妊娠16週以降の妊婦とその家族

持ち物 母子健康手帳

●第2コース(歯科健診と歯みがき教室)

日時 2月24日(木)13:30~15:30
(受付は13:15~13:30)

場所 福祉保健センター

対象 妊娠16週以降の妊婦とその家族

持ち物 歯ブラシ、コップ、母子健康手帳

離乳中期相談

☆母子健康手帳をお持ちください。

日時 2月17日(水) 9:30~11:00
(受付は9:30~9:45)

場所 福祉保健センター

対象 6~8か月児とその保護者
(集団指導)

けんこう相談

●保健師による相談

- (9:30~11:00)
 - 2月1日(火) 老人福祉センター
 - 2月4日(金) 福祉保健センター
※痴呆相談(予約制)
 - 2月8日(火) ハビネスひこね(馬場一丁目)
 - 2月18日(金) 福祉保健センター
 - 2月22日(火) 広野会館
 - 2月23日(水) 稲枝地区公民館

※上記の日程以外にも、☎健康管理課では電話での相談を随時行っています。

●栄養士による相談

- ☆治療中の病気のある人は、主治医の許可が必要です。
(9:00~11:50) (予約制)
 - 2月25日(金) 福祉保健センター

健康管理だより



らくらく禁煙相談

日時 1月12日(水)
9:00~11:40

場所 福祉保健センター

定員 6人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内容 呼気中の一酸化炭素濃度測定による肺の中の汚れ度をチェック、検尿による尿中ニコチン濃度測定でニコチン依存度をチェック、禁煙の疑問やノウハウ等についての個別相談(1人30分程度)

脳いきいき健やか健診

日時 1月25日(火)
13:30~16:30

場所 福祉保健センター

対象 65歳以上の人
定員 10人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内容 痴呆予防のための健康教室・相談、頭と体の体操、脳の老化度テスト

し尿収集予定日 1月後半~2月前半

彦根市事業公社 ☎23-4135 FAX23-4134

臨時の収集については、早めにお申し込みください。(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)
収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。

1月後半

- 17日(月) 大橋、芹中、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、後三条(上)日夏、亀山地区、柳川、上西川、下西川、上石寺、下石寺、稲部(稲部)、稲里、金沢(中・下)
- 18日(火) 船、旭、元、後三条(上)、岡、西沼波(東部を除く)、日夏、金沢(長江)、金沢(中・下)、彦富
- 19日(水) 西沼波(東部を除く)、東沼波、大塚、日夏、亀山地区、服部、稲枝(西・東)、肥田(西肥田を除く)、彦富
- 20日(木) 新、芹中、大橋、東沼波、大塚、日夏、亀山地区、稲部(稲部東)、彦富(笹田団地)、稲部(稲部南)
- 21日(金) 元岡、沼波、錦(第2、3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、河瀬地区、野良田、稲部(稲部南)、彦富(笹田団地)
- 24日(月) 鳥居本地区、金田、上岡部、下岡部
- 25日(火) 鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区
- 26日(水) 古沢、松原(四ツ川を除く)、鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区
- 27日(木) 高宮地区、河瀬地区
- 28日(金) 高宮地区、河瀬地区
- 31日(月) 高宮地区、河瀬地区、小泉

2月前半

- 1日(火) 幸、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川)、安清、芹、外、野田山、正法寺、地藏、平田(大沢)、西今、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央(第1・4部)、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目の一部を含む)、三津屋
- 2日(水) 原(原町西団地) 西沼波(東部) 和田、外、里根、野田山、正法寺、地藏、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目の一部を含む)、西今、三津屋
- 3日(木) 山之脇、芹川、幸、戸賀、小泉、西今、宇尾、野瀬、開出今、三津屋
- 4日(金) 幸、開出今蔵の町団地、八坂東団地、芹川、大藪、馬場一丁目、馬場二丁目、長曾根、西今、開出今、須越、三津
- 7日(月) 開出今蔵の町団地、八坂東団地、後三条(下)、城町一丁目、城町二丁目、栄町一丁目、栄町二丁目、池州、宇尾、開出今、須越、海瀬
- 8日(火) 開出今団地(第1部)、後三条(下)、中央(第2・第3部)、中藪一丁目、中藪二丁目、中藪、長曾根南、宇尾、甘呂、八坂
- 9日(水) 後三条(下)、立花、金龜、尾末、平田(大沢を除く)、宇尾、竹ヶ鼻、甘呂、八坂、開出今団地(第3部)、八坂北
- 10日(木) 後三条(下)、佐和、大東、旭、船、立花、平田(大沢を除く)、亀山地区、稲部(稲部)、金沢(金沢団地)、肥田(西肥田)
- 14日(月) 佐和、立花、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、錦(第1部)、後三条(上)、橋向、平田(大沢を除く)、亀山地区、出路、田原、稲部(稲部)、金沢(金沢団地)、肥田(西肥田)

動く図書館 たちばな号

市立図書館 ☎22-0649
FAX26-0300

巡回日程【1月後半~2月前半】

日・曜日	駐 車 場	時間
18日(火)	西清崎町浄宗寺	13:30
	亀山ニュータウン	14:20
19日(水)	日夏ニュータウン第2期集会所前	15:10
	開出今町菅原神社	13:20
20日(木)	蔵の町団地中央部	14:10
	開出今第2団地(市立病院前)	15:00
21日(金)	平田町大沢高岸B公園	11:00
	西今町松田団地	13:20
25日(火)	西今町伊庭団地	14:10
	若葉小学校	15:00
26日(水)	稲里町公民館	13:30
	稲枝地区公民館前	14:20
28日(金)	千鳥ヶ丘会館	13:15
	平田町東光寺	14:00
29日(土)	平田町明照寺	14:50
	大藪町農業倉庫	13:20
1日(火)	下後三条説教場	14:10
	中藪一丁目白山神社	15:00
2日(水)	新海町公民館	13:30
	本庄町公民館	14:20
3日(木)	普光寺町東ノ辻広場	11:00
	彦富町公民館	13:10
4日(金)	金沢町公民館	14:00
	港屋駐車場東(旧平和堂稲枝店)	14:50
5日(土)	宮田町山田神社	11:00
	J A 鳥居本支店	13:20
6日(日)	鳥居本根団地	14:10
	小野こまち会館	15:00
7日(月)	太平団地	13:20
	東山会館	14:10
8日(火)	湖上平団地堤医院前	15:00
	葛籠町公民館	13:30
9日(水)	高宮地域文化センター	14:20
	B S A パーオ 2 号棟	15:10
10日(木)	清崎町ばんば	13:20
	川瀬馬場町J A 本店前	14:10
11日(金)	河瀬地区公民館	15:00
	多景保育園	13:20
12日(土)	長曾根	14:10
	彦根ニュータウン中央部	15:00
13日(日)	榆公民館	13:30
	昭和阿ルミ茂賀ハイソ	14:20
14日(月)	広野会	15:10
	鳥居本地区公民館	11:00
15日(火)	小泉町百貨卸センター駐車場(東側)	13:20
	東沼波町秋葉神社	14:10
16日(水)	旭森地区公民館	15:00

駐車場での駐車時間は、30~40分間です。

図書館休館日 1月17日(月)、24日(月)、
1月後半~2月前半 27日(月)、2月14日(月)

特別整理期間のお知らせ

1月31日(月)~2月11日(水)、
図書館は休館します。

動く図書館たちばな号は運行します。

お正月のテレビ番組

新春10市市長放談

1月1日(祝) 16:30~17:55
(再)1月4日(火) 9:00~10:25

新春11市議長放談

1月2日(日) 10:30~11:55
(再)1月4日(火) 11:00~11:55

放送局 いずれもびわ湖放送

お正月のラジオ番組

2005初春に語る!ふるさと近江の夢

1月1日(祝) 9:00~11:55
放送局 K B S 滋賀

彦根市長 新春を語る

1月1日(祝) 10:00~
放送局 エフエムひこね
コミュニティ放送

1月17日 防災とボランティアの日

1月15日~21日 防災とボランティアの週間

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から、今年で10年を迎えます。当時、被災地では、さまざまな分野のボランティア活動や住民の自主的な活動が重要な役割を果たし、そうした活動の重要性が、改めて認識されました。「防災とボランティアの日(1月17日)」、「防災とボランティアの週間(1月15日~21日)」は、そのような認識をさらに深め、災害に備えるために定められています。

昨年、発生した新潟・福井豪雨、台風23号、新潟県中越地震でも、災害ボランティアが多くの被災者の助けとなりました。

ボランティアは、「手伝いたい」「参加したい」という気持ちがあれば、だれでも参加できます。「やってみよう」という人は、日ごろから市内で活動しているボランティア団体や、地域の自主防災組織の訓練に参加するなど、できることから始めましょう。

問い合わせ先 総務課 ☎22-1411(内線444) FAX22-1398
《ひこね災害ボランティアネットワーク事務局》(大東町2-29 目加田ビル2階 彦根YMCA内) ☎23-1646、FAX23-3814、
E-mail:hikosai-vnet@biwako.jp

ボランティアの力で、ごみ320トン

びわ湖岸で一斉清掃

昨年の台風23号の影響で、市内のびわ湖岸にも大量の流木やヨシが打ち上げられ、近隣の自治会などの自主的な活動が行われるなかで、12月4日には、特に多かった3か所(延べ2.7km)で、ボランティアによる大規模な清掃活動が行われました。

集まったのは、市民や学生、企業や団体の職

員、消防団員、近隣自治体の職員など、約2,000人。ごみ収集車、パワーショベルなど車両63台も加わり、大量のごみに人海戦術で向かいました。

集められたごみ約320トンが清掃センターへ運ばれ、浜辺は見違えるほど美しくなりました。参加者の皆さんは、「大勢で協力したからこそ」と満足そうな表情でした。



▲新海浜での作業の様子



▲清掃後の新海浜

今月の納税

市 県 民 税 (第4期)
1月31日(月)までに納めましょう

人口と世帯数

平成16年12月1日現在

人 口 109,858人 (+145)
男 53,992人 (+ 86)
女 55,866人 (+ 59)
世 帯 数 39,968世帯 (+143)
()内は前月との比較

表紙のことば

須川 渡さん(栄町二丁目)

彦根に住んで3年目になります
が、びわ湖に太陽の光が差す風景
は、いつも新鮮な驚きを感じます。

私は、県立大学と滋賀大学の学
生が集まる劇団「NewAgeCrew101」
に参加しています。1月には、私
の書いた脚本でびわ湖をテーマに
した劇を上演します。

脚本を書くために沖島の漁師の
方を取材しました。生き方のすべ
てがびわ湖とともにある生活を見
聞きし、自分なりに感じたことを
脚本に生かしました。

彦根に住む学生がびわ湖に何を
感じているか、彦根に住む皆さん
に見ていただき、ぜひ感想を聞き
たいと思っています。

※劇団「NewAgeCrew101」の公演について、詳しいことは12ページに掲載しています。



須川さん(左から4人目)と劇団の皆さん(県立大学で)

表紙では、「住みたい住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。